

## 乳がんの放射線（陽子線含む）治療について

2020年5月20日

一般社団法人メディポリス医学研究所

メディポリス国際陽子線治療センター

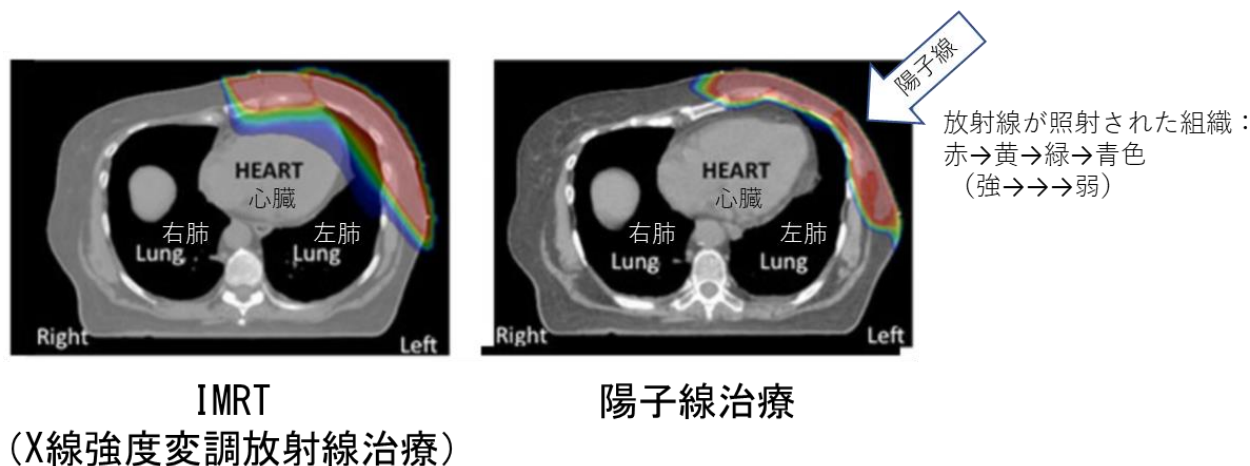
センター長 荻野 尚

4月に新型コロナウイルスに感染後に亡くなられた岡江久美子氏が重篤化した原因として、乳がん術後放射線治療による免疫力低下の可能性が一部で報道されておりますが、乳がん治療中または治療を予定されている患者さんや家族に対し、“混乱”を招いていることを危惧しております。

4月24日の当方通知において、日本乳癌学会の井本滋理事長（杏林大学教授）が、NHKの報道で、「新型コロナウイルスによって重症化する原因になるほど、免疫力が下がるとは考えにくい」（<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200423/k10012401871000.html>）とのコメントを出されていることを紹介しました。さらに、公益社団法人日本放射線腫瘍学会も、4月25日に『早期乳がん手術後に行われる放射線治療は、体への侵襲が少なく、免疫機能の低下はほとんどありません。』と表明されております（<https://www.jastro.or.jp/customer/news/20200425.pdf>）。

報道を見て不安に思われる患者さんや家族もおられると思いますが、偏った情報によって、治療を中断することなく、また、予定されている治療を躊躇することなく、まずは主治医に相談されることを切にお願いいたします。

当センターで実施している『早期乳がんの陽子線治療』※1及び『術後再発予防のための陽子線照射』は、陽子線の特性から病巣をピンポイント照射することにより、下図の通り、肺や心臓など正常組織へほとんど照射されません。



図：乳房切除後の左胸壁の局所リンパ節照射時の線量分布

参照 UF Health Proton Therapy Institute：

<https://www.floridaproton.org/cancers-treated/breast-cancer>

陽子線治療は、心臓や肺に対して、線量がほとんど照射されない。

※1：当センターの早期乳がんの陽子線治療は、これまでに、Phase I 試験（4症例実施）で有効性と安全性が認められ、その後の Phase II 試験で 10 症例に達している。現在は、当初の治験計画に則り、乳がん粒子線治療研究会ならびに倫理委員会にて、その後の経過観察結果も含めて審議中。

メディポリス国際陽子線治療センター ホームページ <http://medipolis-ptrc.org/>